

# 「暑いまち」みんなで楽しく涼しく



「いいね！星川でクールシェア!!」の会場で、ミ  
ニ新幹線試乗やたらい舟競走を楽しむ子供たち  
＝1日、熊谷市鎌倉町の星川シンボルロード

## 熊谷でイベント

全国各地で異例の暑さが続く中、県内でも1日、今年初めての猛暑日となった。気象庁によると、鳩山と秩父で最高気温35・3度を記録したほか、熊谷でも35・0度だ。日本有数の「暑いまち」として知られる熊谷市ではこの日、1人1台のエアコン利用をやめ、涼しい場所に集まって過ごす「クールシェア」の啓発イベントが行われた。イベントは「いいね！星川でクールシェア!!」。同日始まった「2014クールシェアくまがや」に合わせたもので、厳しい日差しが照りつける中、会場の星川シンボルロード＝同市鎌倉町＝は多くの家族連れなどでにぎわった。

9月30日までの期間中、市内200カ所以上の民間、公共施設がクールシェアスポットに指定され、一部店舗では割引などのサービスが受けられる。

息子の陽樹君(3)と訪れた会社員の阿左美智砂さん(36)＝さいたま市北区＝は「子供向けイベントが多く、楽しくクールシェアについて学べた」と額に汗を浮かべながら、笑顔で話した。

イベントでは、熱中症予防大使も務める同市のキャラクター「ニャオさね」に特製の水筒をプレゼント。たらい舟競走やオリジナルのかき氷販売なども。